



きらめき☆奈良

第14号

子どもたちには夢があります。未来があります。可能性があります。
私たちの大切な宝である子どもたちが、自らの力で輝き、地域や社会、未来を照らす光となるように、奈良市ではさまざまな教育を行っています。
奈良市教育だより『きらめき☆奈良』では、奈良市の教育を紹介します。



英語の授業（伏見小学校）

2・3面 特集

教員がもっと子どもと向き合えるように
学校応援サポーターチーム

4面

★教育長の「見る・聞く・語る」
★平城西中学校区地域教育協議会
文部科学大臣表彰と日本防火・
防災協会長賞受賞

グローバル化や情報化による社会や経済の急速な変化、
社会のつながりや支え合いの希薄化に伴って、学校の抱える課題は複雑化しています。

学校や教員に求められる役割が拡大・多様化している中、
奈良市では平成 27 年度から校長 OB・教頭 OB や市職員 OB 等がその経験を生かして
学校をサポートするチームを作っています。

教員が授業など児童生徒への指導により専念し、
子どもと向き合える時間を作ることできめ細やかな教育を行うことをめざしています。

教員がもつと子どもと向き合えるように 学校応援サポーターチーム

日本の教員は忙しい

社会の急速な変化に伴い、学校を取り巻く環境が複雑化・困難化しています。学校は様々な課題への対応を迫られ、学校や教員だけでは解決できない課題が増えることで教員が多忙になり、子どもと向き合う時間の確保が難しい状況にあります。平成25年に行われた経済協力開発機構（OECD）の国際教員指導環境調査（TALIS）では、日本の中学校教員3713人が参加し、その結果、日本の教員の1週間あたりの勤務時間は約54時間で参加国最長であることが分かりました（参加国平均約38時間）。授業時間は参加国平均と同程度ですが、課外活動（スポーツ・文化活動）の指導時間が特に長く、また事務や授業の計画・準備時間も長くなっています。

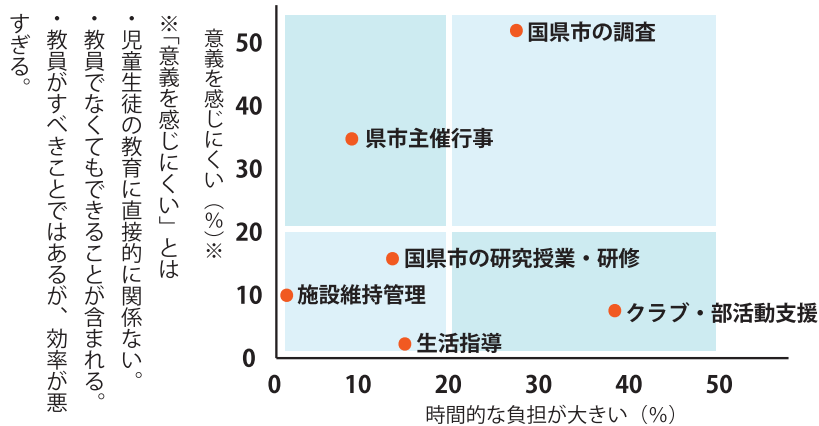
文部科学省では、このことを踏まえ、教員が子どもと向き合える時間の確保と、教員が持っている力を高め、発揮できるような環境整備を行うために、学校現場の業務改善の方策等について検討し、課題に対する体制整備や教員の負担軽減への取組を進めています。

奈良市の教員の現状

奈良市でも市内の教員の状況を2年間にかけて調査しました。平成25年8月に教職員総括安全衛生委員会による教員の超過勤務の実態と多忙感についての調査を行い、平成26年9月には教頭を対象に実態調査を行いました。教頭の仕事は、調査への回答、報告書等の書類作成から、渉外、学校施設・設備管理、学校運営、児童生徒対応まで多岐にわたります。この調査では、調査や報告文書の量の多さや、類似した調査の多さ、校舎の老朽化に伴う日常的な修繕等を負担と感じている実情が表れてきました。

平成26年12月にはWEBを使って、1457人の教員に対しても業務の実態調査を行い、教員自身が何を多忙と感じているか調べました。小学校・中学校の教員共に、時間的負担が大きく、意義を感じにくい（※）と感じているものとして、「国・県・市の調査」、「県・市主催行事」が挙げられていました。また、中学校教員では、意義を感じるが、負担が多い業務に「クラブ・部活動支援」が挙げられていました（下図）。

■時間的な負担の大きい業務・意義を感じにくい業務（中学校教員）



教頭不在時に学校運営担当者がサポート

奈良市の教員負担軽減の取組

教員が授業等子どもへの指導に専念できるようにするため、奈良市では平成27年度に教育委員会事務局内で教頭事務補助チームと学校応援サポーターチームを組織しました。学校現場の課題、日常的な学校支援に関し相談体制を構築することで、教員の負担軽減を図り、教員が子どもと向き合う時間を作り出すことをめざしています。



技術職 OB が施設を修繕



部活動支援担当者が中学校を訪問



奈良市教育委員会事務局

学校応援サポートチーム

施設設備担当
 情報管理担当
 放課後児童育成担当
 地域連携担当
 学校経営担当
 学校運営担当
 部活動支援担当
 虐待・生活支援担当
 いじめ・生徒指導担当
 福祉的支援担当
 教育相談担当

教頭事務補助チーム

教頭事務補助

市民・保護者



要望・情報

支援
 要望・情報



学校

今年度は、左図のように12の担当に分かれ、18人が学校を支援しています。

奈良市の教員支援体制

今年で2年目になる教頭事務補助のおかげで、週に16時間も児童との関わりを持ってました。普段の文書確認や来校者対応、提出書類のチェック作業、発送郵便物の袋詰めなど、こまごまとした業務の補助は効果絶大です。また、プリント類の印刷や配布作業にいたっては現場の先生の負担軽減にもつながり、ひいては児童の授業時間充実にもつながっています。

Interview

六条小学校
浜辺教頭



教頭事務補助チームは、教頭の事務負担軽減を図るために、市職員OBが実際に小中学校に入り、教頭の業務の一部を行います。「教頭だけでなく、学級担任の事務負担も減少し、学級運営に専念する時間が増えた。」「学校管理業務に関して、市の事務に精通した人が来てくれて、様々なアドバイスももらい、本当にありがたかった。」との声が小中学校から寄せられています。

教頭事務補助チーム



教頭を対象とした調査でも指摘されていた、校舎の修繕等についても、技術職OBの施設整備担当が学校へ出向いて修理しています。小学校の樹木の剪定・伐採、雨漏りや換気扇の修理、給食室の天井の塗装などを行っています。

学校応援サポートチーム

部活動支援についての昨年度のアンケート調査では、「生徒と向き合う時間が確保できた。」といった意見が寄せられています。他にも警察OBが生徒指導担当として学校訪問をしたり、校長OBがバンビーノホームの指導員への指導を行ったりしています。

支援の成果と広がり

時間的な負担が大きい中学校・高等学校の部活動についてもサポート。

外部指導者や教育委員会事務局の部活動支援担当者を派遣し、より専門的な指導の実施や顧問の負担軽減を行っています。



奈良市教育委員会では平成 14 年に、12 月 2 日を「なら教育の日」として定めました。それ以降、市民の皆様が本市の教育について理解を深め、一人一人が教育について考える機会として、毎年 12 月に「なら教育の日」記念集会を開いています。なら 100 年会館で平成 28 年 12 月 25 日に開催した記念集会では、富雄北幼稚園児のダンス発表や、椿井小学校・平城東中学校・二名中学校・一条高等学校の 4 名の児童生徒によるプレゼンテーションが行われ、約 800 人の方のご出席をいただきました。「夢・未来を語る」をテーマに、自分の夢に真剣に向き合い、努力し続けていることを語っている児童生徒の姿は、実に堂々とし、自信に満ちあふれていました。この姿は、自分の育った町や出会った人によって培われたものだろうと思います。

今、教育の現場では小学校での英語教育や ICT 機器の活用など様々な取組が始まっています。しかし、英語や ICT 機器はツールです。大切なのは、これらを使って何を語り、何を伝えるかということです。

今回語ってくれた児童生徒のように、子どもたちが周りの人に伝えたいほど感動することや自分の夢を持つためには、家庭や地域、学校で多くの人と出会い、様々な考えに触れ、豊かな体験を通して「自分で考える力」を身に付けることが大切です。そして、それを周りの人に「伝える力」も、これからの時代にますます重要になっていきます。そのためには、私たち大人も何事にも興味を持ち、それを深く探求する姿で子どもたちに接することが大切だと思っています。



富雄北幼稚園児のダンス

平城西中学校区地域教育協議会が文部科学大臣表彰と日本防火・防災協会長賞を受賞



平城西中学校区地域教育協議会による市長表敬訪問の様子

学校と地域の方々が連携・協働して行う学校支援活動の内容が評価され、平城西中学校区地域教育協議会が平成 28 年 12 月 8 日に「平成 28 年度『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました。平城西中学校区は大阪や京都のベッドタウンとして開発された平城ニュータウンの中にあり、昼間は大人が働きに出て子どもたちが家族以外の大人と触れ合う機会が減少していることから、「地域で活動するいろいろな人と出会うことで、地域のことを知り、その願いと思いを受け継ぐ」ことを目的に地域教育協議会が平成 20 年に組織されました。

助けられる側から助ける側へ地域で行う防災教育ー

平城西中学校区では「地域を守る人づくり」をテーマに防災・減災意識を高める取組を幼稚園から中学校まで発達段階に応じて行っており、地域の連帯感を高め、将来の地域の防災を担う子どもたちを育てています。7 月 30 日には「防災セミナー 2016」を平城西中学校で開催し、DPAT（災害派遣精神医療チーム）、DMAT（災害派遣医療チーム）、奈良市北消防署、消防団等が参加し、児童生徒や地域住民が放水体験やバケツリレー、非常食づくり等を行いました。これらの取組が評価され、地域教育協議会は平成 29 年 3 月 1 日に第 2 回防災まちづくり大賞の「日本防火・防災協会長賞」を受賞しました。



「防災セミナー 2016」での放水体験

きらめき☆奈良については、[奈良市教育だより](#) [検索](#)

記事に対するご意見や感想等がございましたら、下記までお知らせください。



おはよう おかえり こんにちは
 声かけ 気かけ 笑顔かけ
 守ろう、地域の子どもたち
 毎月17日は「子ども安全の日」です。

奈良市教育委員会事務局 教育政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

Tel.0742-34-5386 Fax.0742-34-4597